

米国景気概況(2021年11月)

2021年11月2日

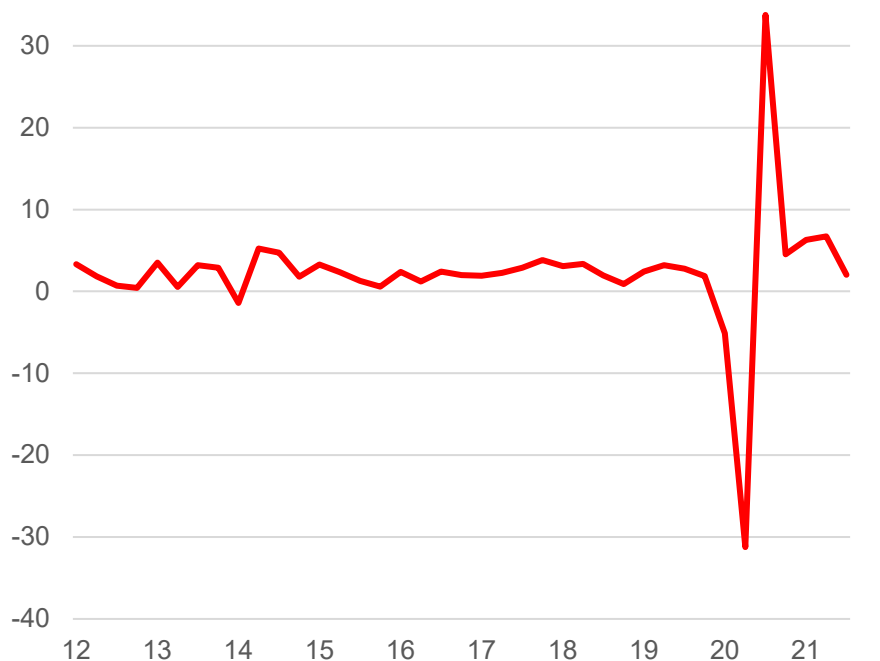
調査部 主任研究員 細尾 忠生

景気の回復ペースが鈍化

米国経済は回復ペースがやや鈍化している。7-9期の実質GDP成長率(速報値)は、前期比年率+2.0%と、前期(6.7%)から鈍化した。新型コロナの感染再拡大や経済対策効果の息切れなどにより、個人消費が同+1.6%(前期は12.0%)に大きく鈍化し全体を押し下げた。もっとも、感染拡大が一服したことなどにより、今後は2%程度とされる潜在成長率を上回るペースの成長が続く見通しである。

実質GDP

(前期比年率、%)

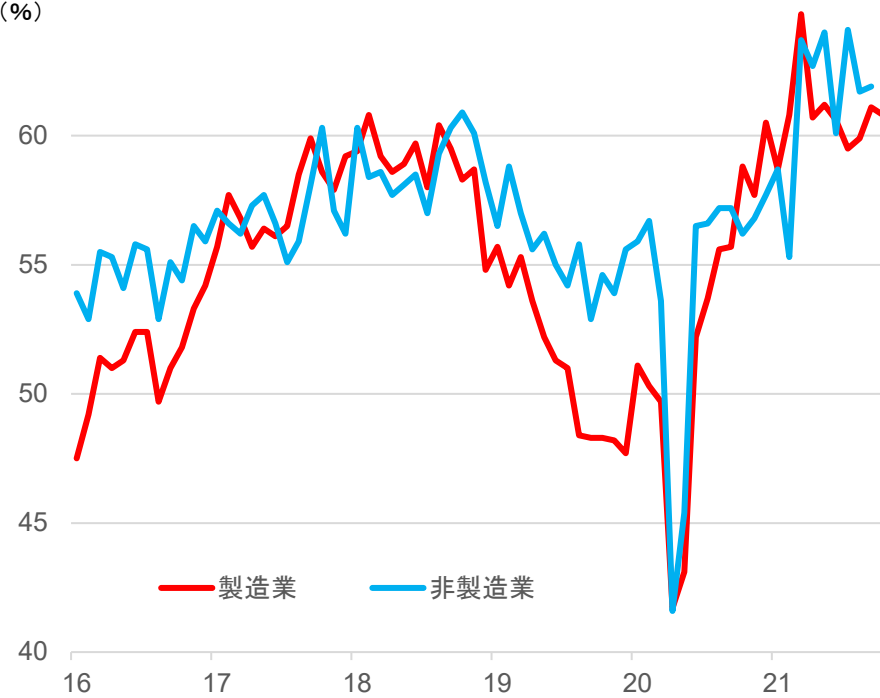


(年、四半期)

(出所)米商務省

ISM景況指数

(%)



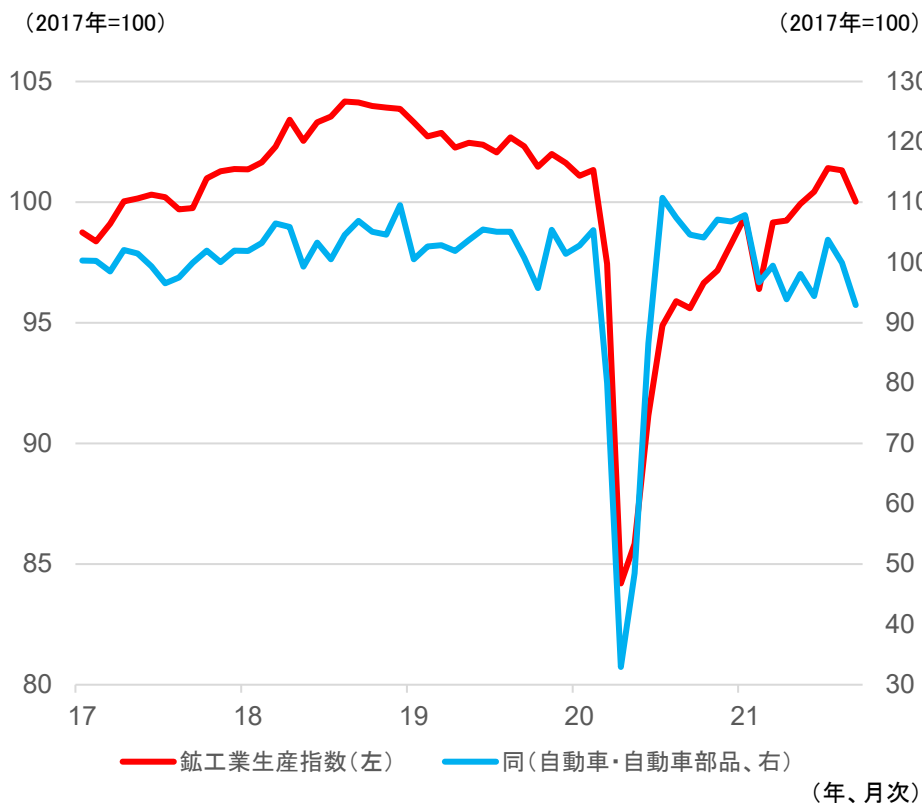
(年、月次)

(出所)米供給管理協会

生産は減少、雇用は小幅増にとどまる

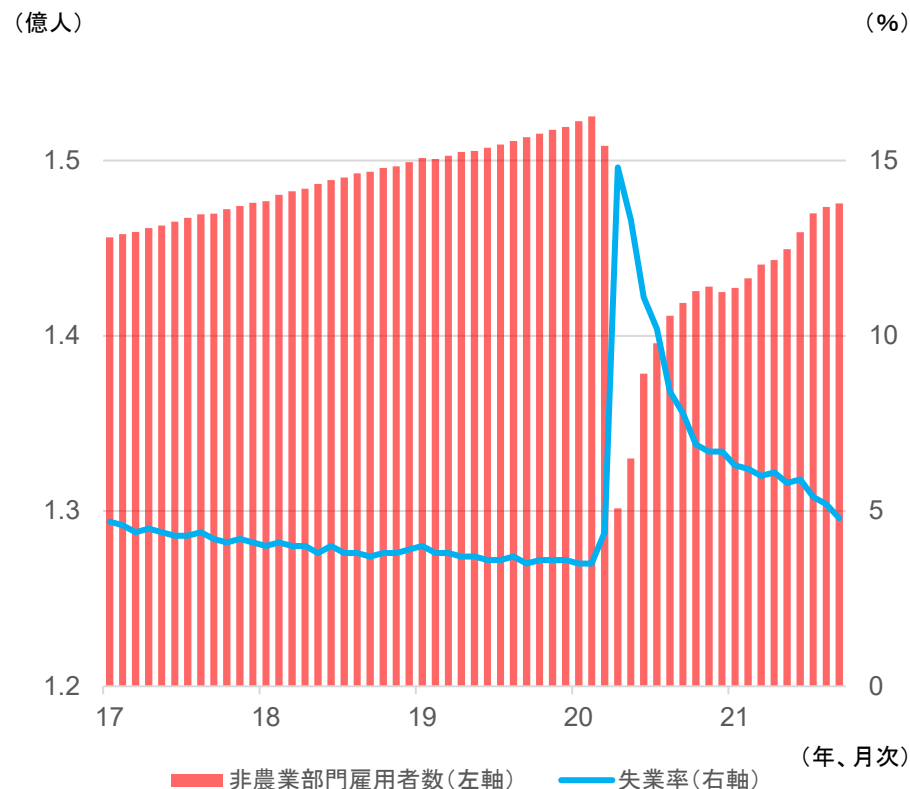
- 9月の鉱工業生産は前月比1.3%減少した。半導体不足の影響で自動車・同部品が大幅に減少した。一方、設備投資動向を示す9月のコア資本財出荷は同0.8%増と7ヶ月連続で増加した。
- 9月の非農業部門雇用者数は前月差+19.4万人の小幅増加にとどまった。回復をけん引してきた娯楽・宿泊・飲食が、感染再拡大により+7.4万人の増加にとどまったほか、政府部門の雇用が減少した。一方、失業率は4.8%に低下した。

鉱工業生産



(出所)米FRB

雇用



(出所)米労働省

消費は増加、物価上昇率は依然高い伸び

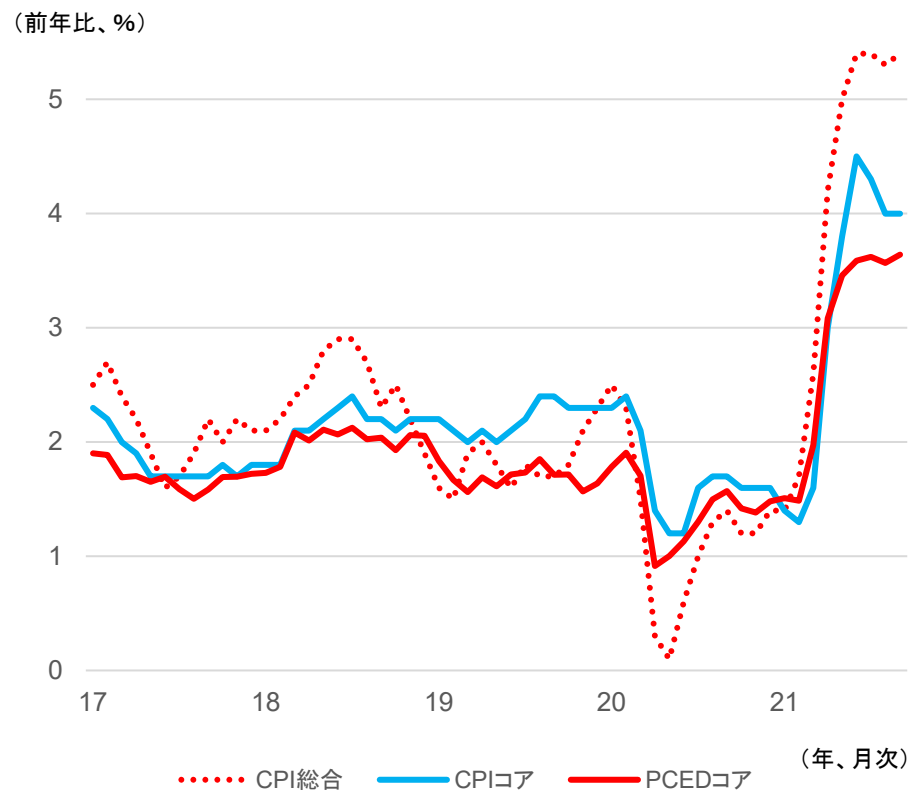
- 9月の実質個人消費は前月比0.3%増加した。自動車が生産不足の影響で大幅減少したものの、自動車以外の耐久財や、新学期商戦が好調だった非耐久財が高い伸びを示し消費全体では底堅く推移した。
- 消費者物価のうち、エネルギーと食料品を除くコアベースの上昇率は、9月に前年比4.0%と高止まりが続いた。また、FRBが重視するPCEデフレーター・コア上昇率も、9月は同3.6%と依然として高い伸びが続いている。

実質個人消費



(出所)米商務省

物価



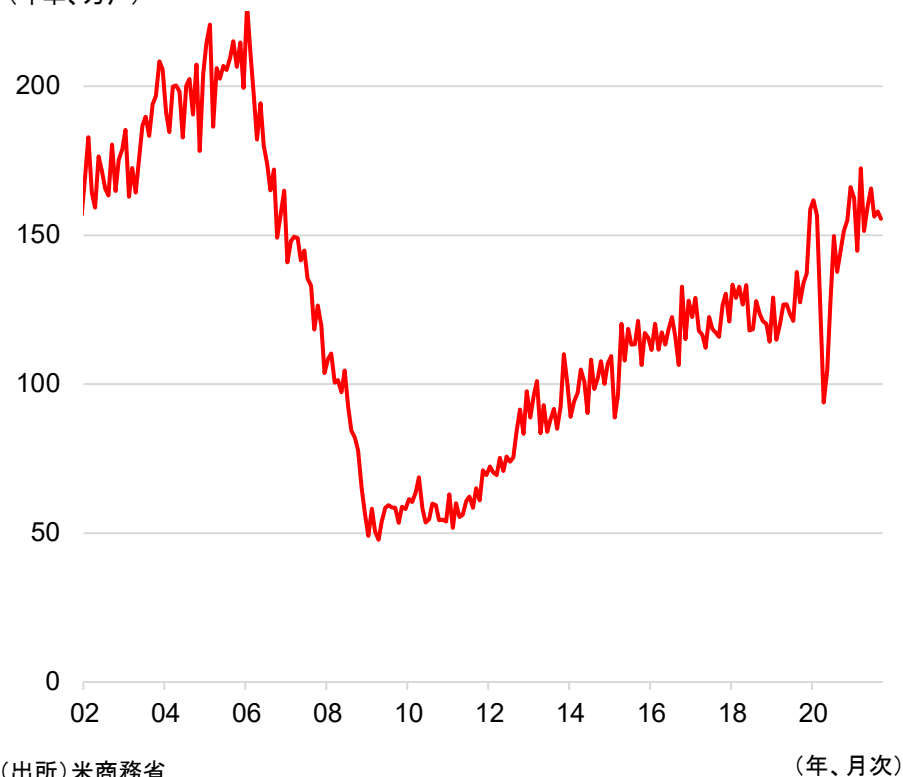
(出所)米労働省、商務省

住宅価格上昇率はバブル期を上回る

- 9月の住宅着工件数は年率156万戸と小幅減少した。木材など建材費の値上がりや人手不足が着工を抑制しているものの、住宅市場では販売在庫が歴史的低水準にあり、物件不足を背景に着工は高水準の推移が続いている。
- 8月の住宅価格指数は、前年比+19.8%と、低金利と物件の在庫不足などを背景に、2000年代の住宅バブル期を上回り、1987年の統計開始以来最大の上昇率を5ヶ月連続で記録した。

住宅着工件数

(年率、万戸)



S&Pコアロジック・ケース・シラー住宅価格指数

(前年比、%)

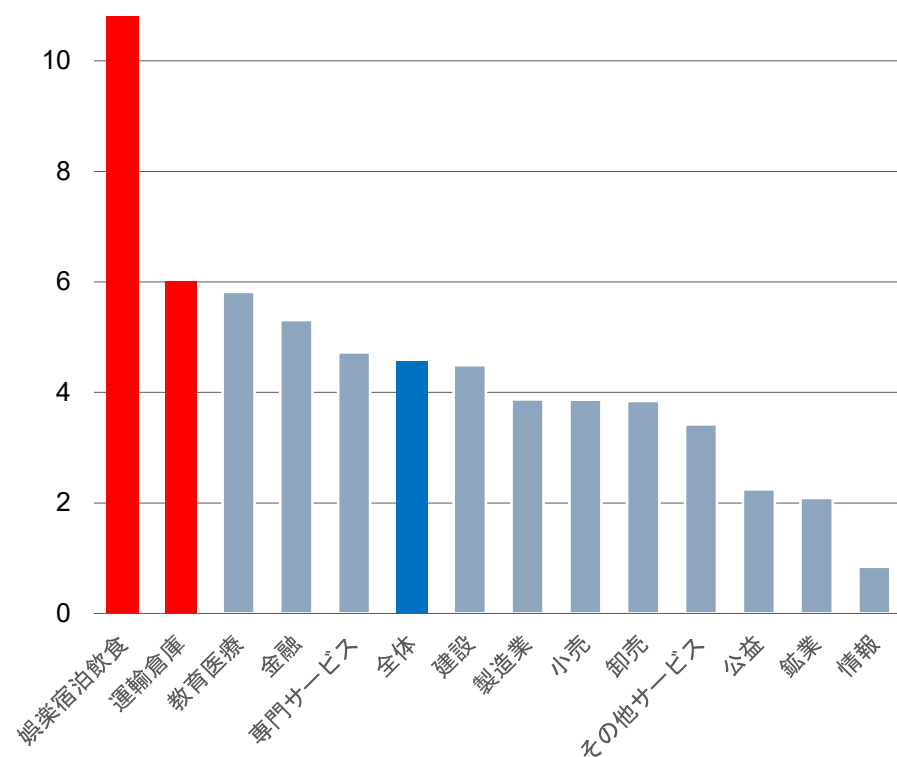


インフレ懸念の強まり

- 米国では、インフレ率の一段の加速が懸念されている。第一に、賃金上昇率を業種別にみると、娯楽・宿泊・飲食、運輸倉庫と、人手不足感が強い業種で賃金上昇が顕著であり、今後も賃金上昇が続き、サービス価格を押し上げる可能性がある。第二に、家賃や、持ち家に家賃を払っているとみなす帰属家賃の上昇率も加速している。
- 家賃上昇の背景には、住宅の供給不足があり、人手不足とともに、いずれは解消されるとみられる。もっとも、インフレ率が大方の想定以上に高止まりする状況が、今後もまだしばらく続きそうである。

業種別賃金上昇率

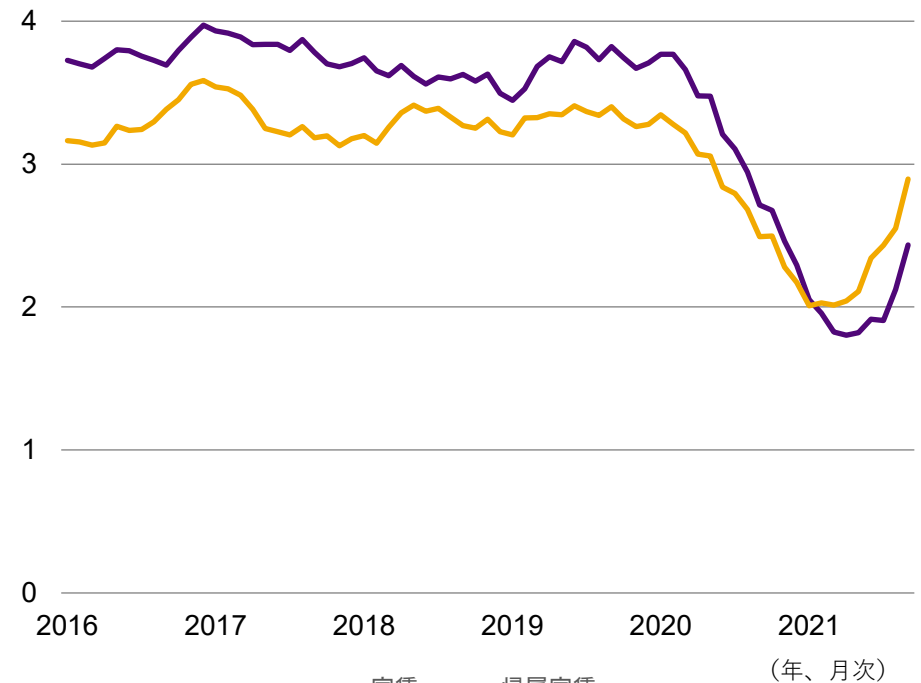
(前年比、%)



(出所)米労働省

消費者物価指数(家賃・帰属家賃)の推移

(前年比、%)



(出所)米労働省

家賃 帰属家賃

金融政策：今後の利上げ動向が焦点

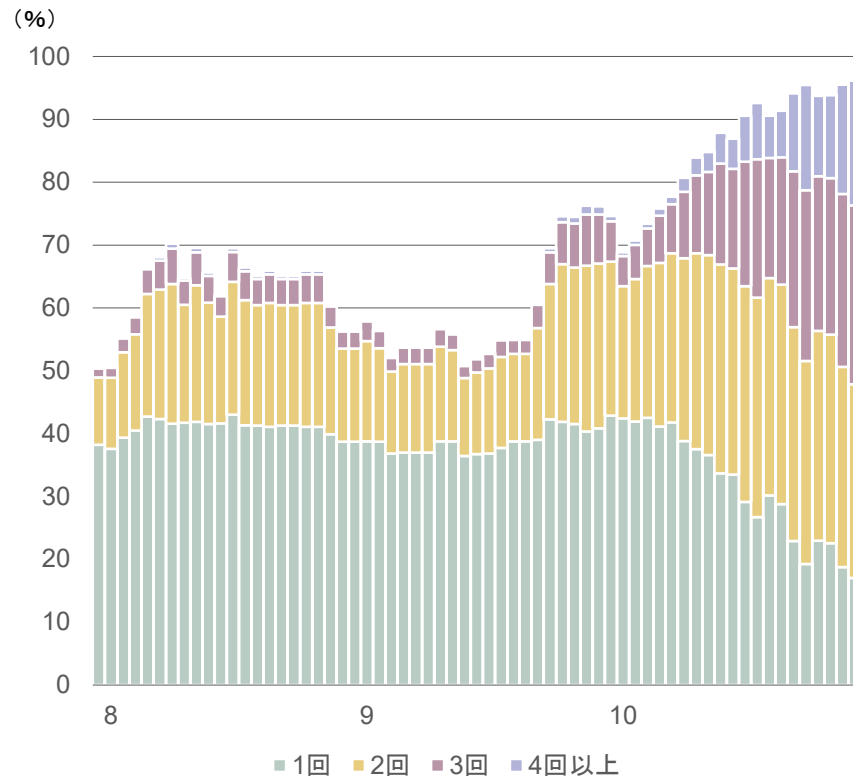
- FRBは、9月21日～22日に開催した連邦公開市場委員会(FOMC)で、ゼロ金利政策と量的緩和策の継続を決定した。一方、「資産購入ペースの減速が近く正当化される」とし、量的緩和策の縮小を11月会合で決定する方針を示唆した。
- 米国では供給制約にともないインフレ率が高止まりし、期待インフレ率は、統計のある2003年以降で最高を記録した。シカゴ・マーカントイル取引所が金利先物の動きから算出する「フェド・ウォッチ」によると、来年中の2回の利上げ実施が8割程度織り込まれるなど、市場の関心は今後の利上げ動向に移っている。

期待インフレ率(5年、国債利回りーインフレ連動債利回り)



(出所)米財務省、FRB

2022年末までの市場の予想利上げ回数



(注)FF金利先物価格をもとに計算される利上げの確率
(出所)シカゴマーカントイル取引所

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 細尾 TEL:03-6733-4925 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

— ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください